

ページ	質問議員	質問事項
8	水上邦雄	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育委員会制度改革について 町長の考えは</li> <li>●すべての子どもたちに行きとどいた教育を</li> <li>●国保の広域化による住民への影響は</li> <li>●重度心身障がい者医療について</li> <li>●県道蓮田鴻巣線の児童・歩行者の安全対策について</li> </ul>
9	上野尚徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>●町制施行記念公園の有効活用</li> <li>●伊奈まつりで伝統文化の継承を</li> <li>●小針中学校の今後</li> <li>●商店街の活性化への支援を</li> <li>●コミュニティ FM について</li> </ul>
9	矢部松男	<ul style="list-style-type: none"> <li>●埼玉県 の 5 か年計画「三大プロジェクト」を受け当町の今後の取り組みについて</li> </ul>
10	中原敦子	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生涯学習の充実をはかるために</li> <li>●「伊奈町の歌」の制定について</li> <li>●デート DV に対する予防教育の必要性</li> </ul>
10	上野克也	<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災対策について</li> <li>●行政区について</li> <li>●エネルギー政策および節電について</li> <li>●教育環境について</li> <li>●公民館について</li> </ul>
11	大沢 淳	<ul style="list-style-type: none"> <li>●災害に役立つハザードマップづくり</li> <li>●子ども・子育て新制度と保育</li> <li>●良好な緑地帯の管理</li> <li>●放課後の子どもの居場所づくり</li> <li>●学校給食における消費税増税の影響と給食の無償化</li> </ul>



## 6人が登壇

6月定例議会では6人の議員が一般質問を行いました。その中から主な質疑応答の要旨を、質問した議員の要約により掲載します。

なお、会議中の発言と答弁の詳細は、伊奈町議会ホームページおよび図書館に備えてある会議録でご覧になれます。(8月下旬掲載)



### 教育委員会制度改革 —町長の考えは



みずかみ けんじ  
水上邦雄 議員

**問** 国会で議論が尽くされ、子どもたちの健全育成と町民の付託に応えられることにつながることを期待する。

**答** 国会で議論が尽くされ、子どもたちの健全育成と町民の付託に応えられることにつながることを期待する。

**問** 国際社会とのかかわりについて子供たちが多面的に考察できる教科書が望まれる。

**答** 町全体の傾向を集約し、改善方策等も併せて

公表していく。

**問** 国保の算出方法は、所得割、資産割、均等割の4方式と所得割、均等割の2方式が検討されている。税の予測は困難である。

**答** 国保の算出方法は、所得割、資産割、均等割の4方式と所得割、均等割の2方式が検討されている。税の予測は困難である。

**問** 周知の徹底を。

**答** ホームページに掲載、広報に年3回掲載する。

**問** 入院時の負担軽減は。

**答** 県の補助対象事業ではないが食事代の二分の一を助成する。

**問** 県道蓮田鴻巣線の児童の安全対策について

**答** 栄3〜4丁目交差点に歩行者用信号とガードレール、しろがね小室幼稚園前に押しボタン信号の設置の取り組み状況は、県警本部に要望書を提出、早期設置に向けて引き続き要望していく。



通学路附近での事故のあと

地域の安心感や温もり、町の活性化のため、商店街の活性化へ支援を



うえの なおのり  
上野尚徳 議員

問 商店街は、買い物をする場所だけではない。地域の社交場で、街のにぎわいを提供する場所。防犯対策、高齢者が住み良い町づくりにもなる。町との共同企画や、商店の誘致、共用駐車場などの支援や、各種補助金の調査・申請などの手伝

いをし、商店街の活性化をねらってみては。

答 今年度は、バラまつりに訪れる観光客を商店街に誘導するイベントを実施し、商店街のPRと販売促進につながった。引き続き十分な支援体制をとっていく。提案の事業は、商工会



売店設置、バーベキュー手ぶらセットで利便性の向上、更に親しまれる公園へ

や商店会等の意見を聞き、検討していきたい。

小針中学校の今後は

問 小針中学校の現在の生徒数と今後の推移は。

答 現在、普通学級の生徒数は763人。6年後、270人程度増加し、1000人を超えると予測。以降は緩やかに減っていくと考える。

問 増加する生徒数に対しての具体的な対策は。

答 校舎の東側の空地に、別棟建築として検討中。

一つのトイレブースを20人で利用。早期対応を

問 水道、トイレが不足していないか。

答 共に対応できていると認識。しかし、生徒数の増加を考慮し、最善の方法で対応していきたい。町民に更に親しまれるパラ園を目指して

問 パラ園の一回限定無料券を検討してみては。

答 入園料は、美観保持で還元できると考えているが、町の花・バラに愛着を持って頂く工夫として、研究、検討していく。

健康増進運動に健康マイレージ方式を



やべまつお  
矢部松男 議員

問 健康マイレージ方式は心身ともに健康で住み慣れた地域で暮らすため、一人一人が自らの心身に對する健康意識を高め、日常健康管理の重要性に

ついて自覚し行動することが必要であるため、生活習慣の改善への動議付けと定着化が図られる。結果、介護予防・医療費の抑制・健康に対する意

識改革・食に対する意識改革・地域の活性化等が図られる。

答 各種検診や事業への参加者を増やす取り組みとしては、一定の効果があつたものと考えている。

問 この事業は地域コミュニティ構築の一助となるが。

答 健康増進のために必要なことは、適度な運動や食生活など健康な生活習慣であり、それらをどのように町民に普及していくかが大きな課題である。また、マイレージのポイント対象事業を町の事業のほかに、自治会などの地域の団体が実施する事業にも対象にすることで、健康増進と地域コミュニティ構築の一助となることも考えられる。他自治体の状況等を見ながら検討する。



ラジオ体操の風景

生徒達に対するデートDVの予防教育は



なかはらあつこ  
**中原敦子** 議員

**町民が音楽活動を楽しめる場所の充実を**

**問** 各行政区の集会所をお借りすることはできないか。

**答** 周辺の環境に配慮した使用可能な場所について調査し、有効活用について研究していきたい。

**問** 使わなくなったピアノのある家庭からピアノを譲り受け、音楽活動に役立ててはどうか。

**答** 実際にピアノの寄附等を受け、活用している実態を調査し研究していきたい。



デートDV 予防啓発リーフレット (中学生用)

**デートDVに対する、予防教育の必要性**

**問** デートDVの被害にあわないために、生徒達への予防教育を行っているか。

**答** 中学校において、保健体育科・道徳の授業のなかで、思春期における性差の理解や相手の人格を尊重することの大切さを学んでいる。

**問** デートDVを人権教育として捉え、町の「人権推進課」と連携して、予防教育を行っているかどうか。

**答** 人権推進課と連携し、生徒も教師もあらゆる機会を通じて、より良い方法で学べるよう研究していく。

伊奈町の防災対策



うえのきくよ  
**上野克也** 議員

**非常用備蓄品等の見直し**

**問** 毎年予算化し県の防災計画にあわせ見直しを行うことになっているが。

**答** 本年4月1日現在で、食料1万2千食、毛布約2千3百枚等各種備蓄をしている。最近では、避難者の方々の特性にあわ

せ、粉ミルク、アレルギ

ー対応の非常食、車椅子なども追加している。

**問** 避難所の障がい者対策と運営は。

**答** 避難所は教育機関や公共施設の体育館で、一定のバリアフリー化がなされているが、集団生活



役場前「新田前公園」  
ミストシャワー噴霧中

**公共施設の暑さ対策**

**問** ミストシャワーを提案しましたが、その後は。

**答** 専用の簡易キットを今年度、小・中学校に設置する方向で対応する。

**公民館分館の管理運営**

**問** 分館の管理条例および分館規則にある形態は。

**答** 公民館分館規則は、形態及び設置等、実状に合わない部分があり、見直しを図っていく。

子ども・子育て新制度



おおさわ じゅん  
大沢 淳 議員

問 関係者、利用者など住民への説明は。

答 個々の利用者には、新制度で何がどう変わるのかを中心に説明したい。

問 障がい児の親の就労は保証されるのか。

答 保育の必要性の認定にあたっての優先項目と

して示されている。

問 幼稚園への影響は。

答 新制度に移行すると、保育料は所得に応じて市町村が定める。

問 児童クラブの対象年齢拡大を。

答 新制度は6年生まで。現状の施設では困難なた



ライオンズクラブの管理するシバザクラ

め、余裕教室の利用について教育委員会及び各学校と協議している。

問 良好な緑地帯の管理

問 記念公園東側の緑地帯における、民間団体の管理に対する評価は。

答 公園の維持管理費用の軽減が図られるとともに、良好な緑地を保つことができる。

問 放課後子ども教室の拡充

問 募集定員と申し込み状況、回数を増やすこと。

答 昨年度は合計で定員230名のところ、4・6倍にあたる1062名の申し込みがあった。当初の予定より定員や開催数を増やした。

問 募集定員と申し込み状況、回数を増やすこと。

会派による政務活動報告

復興から再生への明日へ

会派 公明党  
視察地 宮城県  
視察日 平成26年3月23日

東日本大震災から3年余り経過し、名取市ゆりあげ港では150軒あった店舗が、想定外の津波で大きな被害を受けました。震災前は、新鮮な魚貝類や自社加工した水産物で市場は賑わい、休日

町議会では、議員活動の資質向上をねらいとし、各会派で、他の自治体の取り組みを視察調査したり、また、様々な研修を行うなど研鑽に努めています。

午後から公開フォーラム「復興から再生の明日へ」というテーマで、東

にはイベントが開かれ、観光の大きな目玉になっていました。しかし震災を受け、販売できる店舗を失ない、今では50軒ほどで生活を支えています。朝市の理事長を中心に、復興は「まず俺らが元氣



名取市「ゆりあげ港朝市」

②防災意識の重要性(備え、訓練、命をどう守るか) ③家屋の耐震、住民への情報伝達方法の確立、災害に強いまちづくり ④災害後のこころのケアの重要性を学びました。大震災から3年が過ぎ、怖いことは、風化と風評です。すべての被災者が真実の復興を成し遂げる日まで、寄り添い続けることの大切さを学びました。